常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用 1、210
編集部 1、269

会津清酒
酒まい
清うま
酒い
会津
花泉

猪狩清一さんに大臣賞
表彰される郵政功労者

郵政記念日はあす二十日行われるが、仙台郵政局では二十日仙台市で記念式典と事業功労者の表彰式を行う。席上平局勤務郵政課主任猪狩清一さん(四五)は三十年勤続者として晴れの郵政大臣賞を受ける。なお同氏は永年勤続に内助の功があつた夫人マス子さん(三七)とともに山形県上ノ山温泉に招待される。また平局でも郵業優良者として次の三氏を表彰する。

▽木田貞美貯金主任(四三)＝貯金の募集成績は年間平均の二倍(定額千七百七万四千円、積立十五万七千円)という好成績で二十九年から仙台貯金局長、同郵政局長から九回にわたり表彰を受けている。

▽佐藤勝保険課事務官(四七)＝保険金の集金は目標額の九十二・五パーセント(平均八十八パー1セント)を集めとくにさる二十八年は郵政大臣賞を受けるという優秀な成績を上げている。

▽片寄茂会計主任(四三)＝会計という複雑な仕事を間違なくつとめ、局の縁の下の力持ちとして、他の職場の模範となつたもの。

25日から夏ダイヤ
常交 旅客サービス重点

足の便利をはかる常磐交通では二十五日から夏ダイヤに変更して運行することになつたが、同社ではさらにロマンスカー、セミロマンスカー、普通バス十二台を購入して利用者の便をはかることになつた。なお夏ダイヤは次の通りである。

▽湯本線＝午前六時始発終発午後九時(午後七、七二〇分増車)

▽好間線＝三十九回を四十八回に増車、始発午前六時三十分、六時三十分―七時三十分まで十分おき、七時三十分―十時まで十五分おき、十時―午後三時まで三十分おき、三時―五時まで二十分おき、五時―六時十分おき、六時―七時二十分おき、七時―終発九時まで三十分おき

▽赤井線＝十七回を十八回に増車、始発六時二十五分、終発九時十分で三十分おき、なお日祭は午後三時二十五分と同六時二十五分を増発する

▽小川線＝二十二回に増車、始発午前六時十五分、終発午後九時十分、午後七時五十五分(御殿)同八時二十五分(前原)を増発する

▽赤井小川線＝九回を十一回に増車、始発午前六時三十五分、終発を十八時二十五分とする

▽柳生廻り四倉＝七回を八回に増車、始発午前六時二十五分、終発を午後七時十分

▽四倉線＝始発を午前六時にして終発九時十分、この間に草野迄の午後七時三十分、八時三十分を増発する

▽宮高野線＝二十二回を三十回に増車、始発午前六時十五分、終発午後九時、三十分おき

▽川平線＝始発午前六時五分、増車を午後六時四十五分、七時四十五分、終発八時四十五分の三本を増発する

▽滑津線＝始発午前六時、午後五時、六時、終発九時十分の三本を増発する

▽三坂小野新町線＝始発午前六時二十分、終発(沢渡)午後五時十分

▽永井線＝始発午前六時二十分終発午後五時三十分を増発する

▽下三坂線＝始発午前五時五十分、終発六時二十分を増発

▽小平線＝始発午前七時五十分終発午後六時二十分を増発

▽鹿島小名浜線＝始発午前六時三十分、終発午後六時三十分に変更する

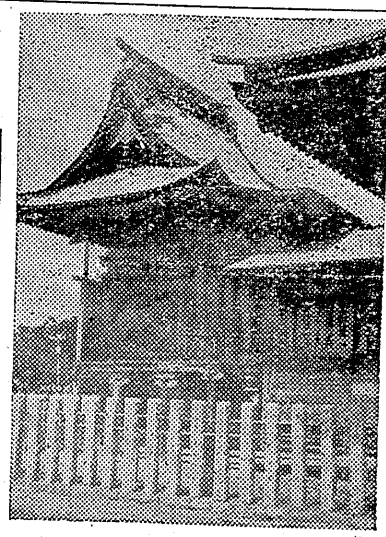
▽隅田川線＝始発六時五十分、終発を五時五十分に変更する

▽片浜廻り＝湯本経由始発午後七時二十分、江名経由、始発午前五時四十分、終発午後八時三十分で各線とも二十分おき

▽市内線＝始発午前七時三十分終発午後九時三十分で十五分おき運行する。

溺れる幼児救う

十九日午前十一時ごろ四倉町表玉山牧ノ下農業鈴木牧男さん(三五)の三男正信ちゃん(三)が自宅前の高倉川附近で遊んでいるうち誤つて川に転落、溺死寸前にあるのを通行人の同町舘下登職山崎吉太郎さん(六〇)が発見、無事救助した。なお平署では山崎さんを人命救助で表彰方を具申した。



(写真は改築される本殿)

鹿島神社本殿を改築

磐城市林の中鹿島神社本殿は老朽甚しいので氏子等が発起人となり此れを三百五十万円の寄贈により改築することになつた。同社はかん武天皇の御代坂上田本麿呂将軍の御願により建られたもので年代からしても改築案が出されていたものが実現されることになつたもので募金使用途の内訳は▽本殿改築費三百万円、▽記念碑十五万円▽遷宮式、上棟式費二十万円▽寄附奨金額費五万円▽予備費十万円となつている。

平の散水車
一週間休み

平消防署では撒水車の検査に備えて車の修理をするため、来る二十二日から一週間撒水を停止する。

湯本砿の模型近く完成

常磐炭砿では保安博物館の備品として砿業所を中心とした湯本砿の模型を製作していたが、九分通り完成した。この模型は岡砿労務課の平野晧、保安部熊坂太郎の両氏が製作に当つていたもので、一間四方の大規模なもので、発電所、自治会館、病院、組合本部などの主要建物が配置されているほか坑内外の断面模型や保安教育用のパノラマ、理想炭砿パノラマも五月末までには完成することになつている。

衛生功労者を表彰

カとハエのいない生活実践運動が開始されてから今年で三年目を迎えるが、平市衛生課ではこの間において同運動に全町民がこぞつて乗り出し明るい街を建設した次の各氏と衛生班を表彰することになつた。表彰式は二十二日午後一時から市長室で行う。

◇感謝状＝新川町衛生部長久保田英三、城山本丸一、二組衛生部長加藤金佐▽表彰状＝新川町衛生班、城山本丸一、二組衛生班、草野字馬目地区衛生班

学校事務職員を募る

県教委石城出張所では学校の事務職員を募集する、なお資格は四月一日現在で満三十二才から三十才まで、採用校は平一中、平一小、勝間中、草野小、渡辺中、湯本二中、常磐中、勿来三小、田人中となつている、なお詳細は出張所から各学校に問合せよい。

大映で俳優募集
平市役所で推せんする

大映では第三次の新人俳優候補者の募集を始めたが、平市商工課では俳優希望者をつのることになつた。締切は五月五日で希望者は次の要項で申し込む様要望している。これに採用されると六月十日から六カ月間大映俳優養成所で教育を受け、卒業後は俳優として契約される。

▽資格＝男女とも新制中学校卒業以上で、満二十五才未満の未婚者

▽提出書類＝正面、横顔、全身の写真を手札型以上にして各一枚を提出する(いずれも一年以内に撮影したもの)

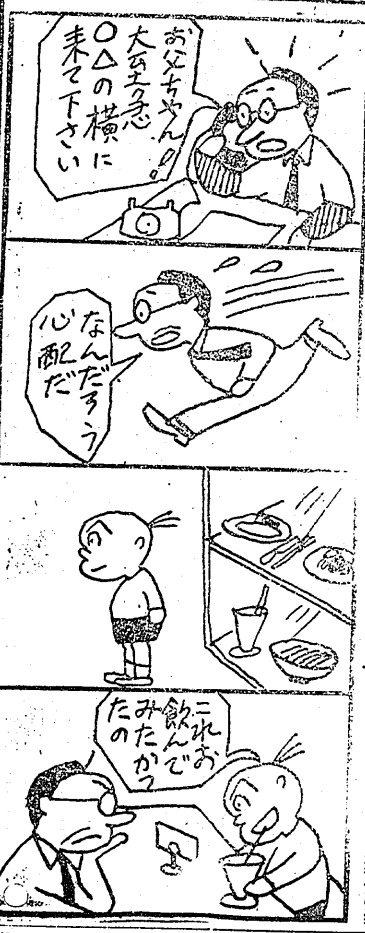
▽職種＝機械工▽交選工(男女を問わず)▽製本工各一名

▽委細面談来社乞う

平市一丁目七電一〇九 渡辺印刷所

松月支店に人気集る

茶の間とお台所を直結するセルフサービスの店が磐城市内にお目見得して十四日の開店から街の人気をかき集めているこの店はお菓子と喫茶の店として知られている平市の松月堂が小名浜の目抜通りに支店を出したもので、食料品のデパート。販売方法は東北でも初めての試みだろうというセルフ・サービスの方法をとり、客が自分でウンターで清算するというセルフ仕組み。いままで磐城市内にはながら買物をして行き、最後にカこのような大規模の大きな食料品の専門店がなかつただけに市民から喜ばれている。



花の…
喫茶
平市一丁目 電1406

定石やぶりの折詰が大流行
藤越
小名浜 平市
注文折詰では新しいセンスが盛れなくなつたものか佃煮、カマボコ、するめフライなど好きなものと組合せた手製の折詰がはやつているというのです。
○カマボコ(中板) 一三五円
○だてまき 一本 一八〇円
○トンカツ 一枚 四〇円
土曜サービス海苔 一帖七〇円

看護婦 家政婦 の御用命は…電三〇七番へ
労働大臣認可 平 看護婦 家政婦 斡旋所
簡派出多忙＝看護婦・家政婦＝募集

厚生医療指定病院
財団法人 竹林病院
本院 平市十五丁目十三番地 電話六〇八・八一一番
分病棟 平市小太郎町十三番地 電話一一七四番

肖像畫 女子習生 入用 ◇年令十六・十七才の方 三名
平市五丁目 菊水画房

時計なら ポケット時計利用下さい
高速度時計設備 修理器 スイス堂
平市五丁目 電1861

マイナル粉石鹸 代理店 袋屋本店 電話五一六

産科 婦人科 外科 皮膚科 其の他一般
○分病室完備
保険医優生保護法指定医
赤羽医院
磐城市泉(明霊堂跡) 電泉二四番

訃報

故難波功助儀 永らく病気療養中の処薬石効なく四月十四日午前一時三十分永眠いたしました
茲に生前の御厚誼を深謝し謹んで御知らせ致します
追つて葬儀は来る四月二十日午後二時自宅出棺正内町照岸寺に於て埋葬相営みます
昭和三十二年四月十九日
平市正月町二四
喪主 難波国夫
親族総代 難波清治
友人総代 猪狩清一
世話人代表 渡辺印刷所

本社々長**難波功助**殿 永らく病気療養中の処薬石効なく四月十四日午前一時三十分永眠いたしました
茲に生前の御厚誼を深謝し謹んで御通知申上げます
追而葬儀は来る四月二十日午後二時自宅出棺正内町照岸寺に於て埋葬相営みます
昭和三十二年四月十九日
平市正月町二四
合資会社難波紙店
社員一同

笛の詩 48

絵と文 谷田部風太郎

笛の章 17

「うむ。じやあ、失敬。」

「笛で送つてやるぞ。」

細かい雨が、海の中へ、岩の上へ、人の心へ、もぐり込む様に降つている。

その中を、啓介の吹くフリユートの音が、しづかに縫つて、湿つぽい潮風にとけた。

「おう。今日は何じやね。」

大きな片手を顔の高さに上げていつもの様に船長が、船長室から出て来て言つた。

「志村さんがお帰えりになるんですの。」

「ほう。志村君が……。」

船長は、デツキの志村の横へ歩み寄つた。

「沈まん様に、送つて下さい」

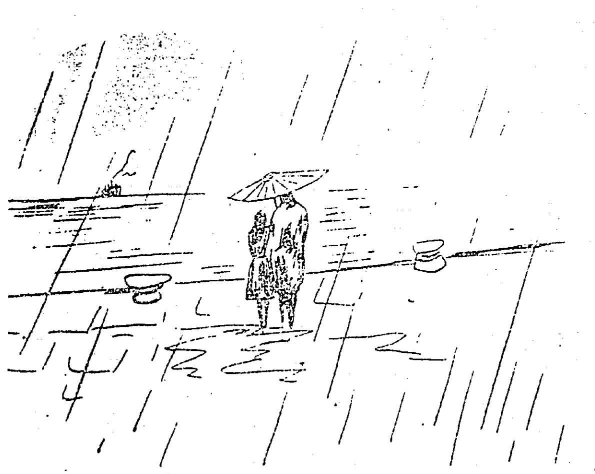
「はつはつはつ。大丈夫じやよ。」

荷物を船室へ運び終つて、利子がデツキへ出て来ると、船長は又、手を上げて言つた。

「ほゝう。すつかり良いのを着たのう。網走まで、志村君を送るのかの?。」

あら、船長さん。まだくずつと送るのよ。」

「ずつと、どの辺までかね?」



「一生の間、送り通すのよ。無論、断わられたら止めるけど」

「一生の間……?。」

「利子は、僕のワイフになりまして ね。」

志村が、レインコートのよじれたバンドを直しながら説明した。

「ワイフ。——ほほう。」

船長は、ぴんと感じぬらしく雨にぬれた白い鼻ひげを、シユンとこすり上げてから、大型の懐中時計をポケットから出して見入つた。

「さあ、もうそろそろ時間じや栄坊、明日の晩は泊りに行くぞウ。」

「御馳走作つて置きますわ。」

「うむ。」

船長はにつこり笑つてから、船長室に入つて、伝声管に口をあてた。

「スタンバーイ!。」

汽笛が鳴つた。デツキの志村と利子は、同じように手をふつた

「栄子さん。お手紙下さい。」

「ええ。あなたも……。」

かつては深いわだかまりのあつた二人も、今は別れを惜しむ友人同志であつた。

啓介は、再び笛を口にした。フリユートは、美しい音色を出しながら、二人と二人の別離の詩を、その管の中へおさめるのであつた。

おもかじを一杯にとつた真白い船は、大きく旋廻して、みよしを沖に向け、細かい雨のしみ込む海の上をすべつて行つた。

利子が手に振るハンケチが、少しづつ雨もやに消えて行つた。

「あのお二人、きつと幸福になれますわ。」

一人言の様に、栄子は口走りながら、振つていた手を静かに下ろした。

啓介はまだ笛を吹いている。遠く離れて、ぼんやりとかすんで見えるアバツデウシ岩にさしかかつた船の二人に、まだ、聞えるのだろうか。少し傾いたフリユートから、細かい雨の雫がしたたつていた。(つづく)

銘菓 [illegible] 平凡

対策本部を設け 凍霜害の防止を徹底

いろいろの対策を統一して関係諸機関団体との緊密な連絡をして晩霜の被害を未然に防ぐため石城地方に凍霜対策本部を設置する。本部は石城経済員駐在室、農業改良指導所、蚕糸指導所、農地事務所などで結成四月二十日から実施する。

これはいままで県の注意報が農家まで徹底しなかつたときが多かつたので石城財務事務所に本部を置き夜間は宿直員が各地区の関係機関に連絡して防止する目的。なお晩霜は▽夜間が晴れて澄み、星の光がきらめくとき▽風が弱く空気が乾いているとき▽前日の日中に冷たい風が吹き、ときどきシグレのような小雨が降つて肌寒く夕方になつて風がやみ晴れあがつたときは気温が急速に下る、またこのような条件で気温が下り午後八時から十時ころに摂氏五度以下に下つたときは霜害を受ける危険が最も多い。

四倉公民館の青年学級 20日から開校

四倉町公民館では事業の一環として例年青年学級を定期的に開設して一カ年を通じて実施しているが本年度も二十日から三十日までの十日間、同町内の各所でスライド映画会を催し、青年学者入級者の啓蒙運動を開始する。

青年学級の開設趣旨は勤労青年に教育の機会を均等に与え、その教養を高め知性豊かなたくましい実践力をもつ個性を完成し、真に民主的な社会建設の基盤とするもので場所は四倉公民館に置き、開設は五月三日(憲法記念日)で期間は一カ年となつている。

学習内容は、一般教養科(社会、書道、生花、音楽)職業科(職業以上として智識、技能、経験を高めるに必要な学習)家庭科(料理、保健衛生、被服管理、家庭経済)レクリエーション(研修旅行、ハイキング、舞踊、演劇)などがあり毎週(月、水、金)午後七時から九時までの二時間の授業で授業料は無料である。

船長25,000圓 独航船乗員の給料決る

北洋のサケ、マス流し網漁業に従事する独航船乗組員の賃金交渉は十七日磐城市小名浜漁協組で船主代表と海員組合小名浜支部柳楽支部長らが集まつて開き討議した結果次のようにまとまつた。

▽船長=月給二万五千円、航海手当一万八千円▽漁ろう長=月給三万二千円、手当一万五千三百円▽無線局長=月給一万八千円、手当一万五千三百円▽甲板長=月給一万五千円、手当一万二千円▽甲板員=月給一万三千円、手当一万二千円▽水揚げ歩合は水揚げ貫数の一割から二割とする。

内郷大火の見舞金調査

内郷市の大火に見舞金をおくるため平市など各市町村では十八日午後一時から石城財務事務所会議室に集り各市町村の分担額を決めるなお目標額は市町村負担、一般家庭募金など約百万円の予定。

四倉青色申告会の総会

四倉町青色申告者協会=会長新妻常吉氏=は二十一日午後一時から四倉町本町好洋荘で定期総会を開き、三十一年度事業報告並決算報告承認、役員改選、三十二年度事業計画予算書の承認など協議するが、その席上に特別平税務署長、直税課長、青申係長らが出席する。

運動靴百足贈る 磐城市の小島さん

"困つている子供たちに分けてやつて下さい"と真新しい運動グツ百足を福祉事務所に寄託した奇特な店主が磐城市におり学校側から感謝されている。

磐城市本町六二小島ゴム店主小島喜也さん(三〇)がその人、小島さんはゴムグツを店で扱つているところから修学旅行期に入つて中学生に運動グツをさばいたがなかに高価なもので手がとどかずクツを求めないで帰つてしまつた客があるのをみて「遠足が近づいたのにズツクも買えない子供がいるだろう」と気づき、薄幸な子供たちに少しでも分けてやりたいと寄附を思いたつたものである。真新しい運動グツ百足を受取つた磐城福祉事務所では小島さんの善行にすつかり感激し早速これを市内小学校三校と本町、古港、高山の三保育所に分けてやつたが、学校側でも十八日の遠足を前にして「思いがけないプレゼントだ」とこれまた感激、子供たちに分け与えた。

クリーニング
洗張・防水
小松崎
平館前 電1343

試験水田で作況調査

四倉地区農業改良指導所=所長草野昇氏=では三十二年度水稲試験地を四倉町大字山田小湊字一町田農大谷武良さんを選び早播、晩播の水稲作況調査を行うことになつた。この試験調査は稲の十一種類を苗代期から収穫期まで調査して平地方の水田に適当な品種を選ぶもので、この調査には同所員遠藤技師が当ることになつた。

今晩のラジオ

◆NHK(第一)
六、〇〇 子供の時間
六、一五 スポーツ便り
六、三〇 一丁目一番地
六、四五 四局通信
七、一五 録音ニュース
七、三〇 花の星座
八、〇〇 演芸 独演会
九、〇五 ニュース解説
九、一五 連続浪曲
九、三〇 社会展望
一〇、一五 放 迷 劇

◆ラジオ福島
六、〇五 トニーの童話
六、一五 赤胴鈴之助
六、四〇 永遠に答えず
六、五〇 音楽の小箱
七、一〇 録音ニュース
七、一五 中合アワー
七、三〇 歌う三人娘
八、〇〇 素人歌合戦
八、三〇 テルミーおしゃれ
ミユージツク
九、〇〇 お好み歌謡ゲーム
九、三〇 ユーモア歌合戦
一〇、〇五 名作アルバム
一〇、一〇 夜の案内
一〇、一五 夜の調べ
一〇、三〇 右門捕物帳

今晩の映画

▼平文化ニュース ニュース マンガ 北極ものがたり 二十日マデ
▼東映劇場 七、一〇 不良女学生 八、四五 第十三号さん橋 廿三日マデ
▼世界館 七、〇三 まだら蛇 八、三六 夜の河 廿三日マデ
▼平館 六、五五 愛ちやんはお嫁に 八、三三 花は嘆かず 廿三日マデ
▼民劇 六、三〇 美貌の都 八、一七 雨情 十九日マデ
▼ひかり座 六、一〇 河の女 八、二五 ピクニツク 廿二日マデ
▼聚楽館 七、〇〇 水田地帯 八、三五 ならず者部隊 廿二日マデ

平さくら祭・協賛
奉祝子鉄倉神社大祭
特別優待割引券
総天然色映画 まだら蛇 長谷川一夫 美空ひばり
総天然色映画 夜の河 山本富士子 上原謙
◉此の券切取つて御持参の方 大人 五五円
世界館

ラジオ 洗濯機 月賦 御報参上
酒井無線 平市五丁目 電一九九〇

お酒 一良久 平市五丁目 電三三八

貴女をより美しくする
責任有る
お化粧品と
アクセサリーの店
おしやれの
藤越
平市銀座通り

奥様の労苦に感謝しましよう
御婦人優待3割引!

目白三平物語
うちの女房
妻の歓び夫のしあわせ!食卓を囲む家庭にほのぼのとした話題を贈る愛のカタログ!
佐野周二 望月優子 佐原健二 団令子(新人) 杉葉子 久慈あさみ
次郎長意外伝! 大暴れ三太郎笠 のり平・有島
東京のテキサス人 南道郎 EHエリック
同時上映
民劇 24日より4日間

鮮魚 塩干 折詰仕出し
丸市屋本店
平市四丁目 電二二三

御婚礼家具
▽最新型洋服タンス ベビータンス
▽冷蔵庫・テーブル・本箱・椅子
各種豊富陳列致して御座居ます
自家製造店
家具のデパート 伊東家具店
平市新川町 電四六四
工場 平市大町 二九

不動産売買・仲介鑑定貸家斡旋
福島県知事公認取引所
平宅地建物取引所
平市才槌小路踏切際 色川材木店内 電三六一番

銘菓
平五萬石
尼子まんじゆう
八幡太郎せんべい
福島県観光連盟推薦土産品
平製パン
御贈答に……
お土産に……

三馬 弘進のゴム靴 合羽 丸高 TEL 649